

共謀罪法案を 4度目の廃案に追い込もう！

あなたの隣に共謀罪！

エッ！話し合うことが罪に!!

イラスト / いのうえしんぢ



安倍首相は、「テロ対策」のためと称して、三度廃案になった共謀罪法案（テロ等準備罪）を今国会で制定しようとしています。しかし、「テロ対策」といながら政府の法案には「テロ」の言葉もなく、「テロ対策」はウソではないかという批判がおこり、急遽「テロリズム集団」という文言を加えました。政府は、今回の法案について過去の共謀罪とは別の新たな提案とっていますが、それは全くのウソです。

◆話し合うことが罪になる共謀罪

共謀罪法案は、2003年に国会に提出されましたが、世論の反対で三度の廃案に追い込まれました。それは、共謀罪が法律に違反する行為を話し合い「合意」することを罪とする、思想・意見・言論の自由を侵害する違憲の悪法だったからです。近代刑法では人は法律に違反する行為を実際に実行しない限り、処罰されません。それゆえに、話し合いを処罰する共謀罪は世論の強い反対を受けたのです。

冗談も言えません。

広範な対象犯罪、市民の日常生活が監視される。

普通の団体が「テロリズム集団」や「組織的犯罪集団」に。

日本は国連などの求めるテロ防止条約は全て批准しています。